

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団	県所管課	健康福祉部障害福祉事業課
代表者	理事長 横山 正博	電話	043-223-2339
所在地	千葉市緑区誉田町1丁目45番2		
電話	043-291-1831		
設立年月日	昭和55年11月22日		
ホームページアドレス	https://www.chiba-reha.jp/corporation/		
事業内容	県の社会福祉事業の推進を図り、広く県民福祉の向上と増進に寄与することを目的に、千葉県千葉リハビリテーションセンターの管理運営を行う。		

1 出資等の状況(R4.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	10,000
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	10,000	100.0%	1	
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(R4.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総資産	3,403,116	3,282,202	3,175,394
負債	2,205,570	2,096,241	1,929,633
(うち有利子負債)			0
純資産	1,197,546	1,185,961	1,245,761
累積損益(利益剰余金)	1,187,546	1,175,961	1,235,761

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	5,357,193	5,315,491	5,357,820
経常損益	20,935	-10,765	47,923
当期損益	20,941	-10,059	61,327
減価償却前当期損益	34,888	7,176	41,428

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
借入金残高			
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料	指定管理料、高次脳機能障害支援普及事業委託外	1,310,332	1,332,941	1,297,116
補助金・交付金・負担金	在宅移行児童一次支援事業補助金、看護師等充足対策事業補助金	1,184	16,187	17,348
合計		1,311,516	1,349,128	1,314,464

(2) その他

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位: 千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	令和元年度	令和2年度	令和3年度
委託料のうち再委託したもの	給食業務、建物総合管理業務、医事業務等	543,169	561,650	542,913
再委託のうち入札によるもの	建物総合管理業務、医事業務等	260,442	268,384	272,706
再委託のうち随意契約によるもの	給食業務等	282,727	293,266	270,207

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
常勤役員数	3	3	3
うち県退職者	2	2	2
うち県派遣職員	1	1	1
常勤職員数	457	452	455
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	15	13	15

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員数(県派遣又は県OB)	3人(3人)	3人(3人)	3人(3人)
役員平均年齢	59.7歳	60.7歳	60.3歳
平均年収(千円)	12,256千円	12,305千円	12,068千円
職員数(県派遣又は県OB)	456.1人(15人)	452.4人(13人)	456.3人(15人)
職員平均年齢	39.6歳	39.5歳	39.9歳
平均年収(千円)	6,682千円	6,620千円	6,352千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※役職員数は実人員を記入してください。

令和4年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください。

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

※令和4年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	県と連携した経営改善
改革方針(概要)	・県立施設である千葉リハビリテーションセンターの管理者として、当該施設の使命や役割を果たせるよう、県の関与の下、利用者サービスの向上及び経営の改善を図る。
取組状況	<p>千葉リハビリテーションセンターの運営に当たっては、社会的使命を踏まえた上で利用者ニーズに的確に応え、利用者サービスの向上を図った。収入の増加、経費の節減等を常に意識し、効率的な事業運営に努め、良質なサービスの提供と県の負担軽減という指定管理者制度の目的の達成に努めた。</p> <p>リハビリテーションの提供に当たっては、乳幼児から成人・高齢者まで幅広い層の利用者に対して、集中的、効率的にリハビリテーションを実施するために、療法師の計画的な増員やリハビリ実施時間の拡大を行っている。令和3年度のリハビリの総提供量は、指定管理者制度導入前(平成17年度)と比較して約2.7倍となった。</p> <p>また、診療報酬制度の中でより高い収入を得るため、病棟編成や職員配置等について必要に応じて見直しを行っている。</p> <p>これらの取り組みにより、令和3年度の利用料金収入(医療事業収入・障害福祉サービス事業収入)は指定管理者制度導入前(平成17年度)と比較して約1.8倍となり、約18億円増加した。</p> <p>一方、支出の縮減についても、物品購入等における契約先・契約方法の見直しを随時行い、医薬品の購入に当たっては病院局との連携により県立病院と同条件での契約としたことに加え、購入額が多い医薬品についてはSPD(院内物流管理システム)の導入による在庫管理等の効率化を行うことで、契約額を削減している。</p>
その他(特記事項等)	<p>令和4年12月27日付けで関与方針を策定した。</p> <p>○区分:関与維持(県と連携した経営改善)</p> <p>○県としての具体的な取組</p> <p>利用者サービスを維持向上しつつ安定的かつ持続的な経営を図るため、収支と人員体制の均衡がとれるよう、経営計画に基づく経営改善を求める。</p>

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。